

2005年度 第8回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2005年11月8日(火) 午後7時15分～9時15分
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室
出席委員：熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、山下恭子
<以上4名、敬称略、あいうえお順>
欠席委員：阿部靖子、飯塚 睦、安岡厚子
<以上3名、敬称略、あいうえお順>
事務局：齊藤地域福祉課長、飯塚主事、今林コーディネーター、平田コーディネーター
丸木係長

配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(10月)
資料 2：コーディネート状況等月次報告
資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(11月)
資料 4：2005年度第7回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
資料 5：第2回災害専門委員会 ボランティア・市民活動センター運営委員会合同会議録<未定稿>
資料 6：西東京ボランティア・市民活動センター「災害時の対応」に関する答申
資料 7：2006年度西東京ボランティア・市民活動センター事業(案)
資料 8：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員選出要領(案)

委員長：では、運営委員会を開催する。3人が欠席だが何とか成立する。今週末には市民まつりに参加するので、楽しみにしている。

1. 報 告 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

事務局より、資料1、2、3に基づき10月の業務報告を行うとともに、11月の予定を説明する。

委員長：講座を開催すると登録者は増えるようだ。
他に質問、意見無く業務報告を終了した。

(2). 理事会報告

委員長：10月28日に理事会が開催された。社会福祉協議会が発行している印刷物に有料広告を出すということで、その規則が承認された。ボランティア・市民活動センターには直接関係ないが、指定管理者制度が導入されようとしている。採算があわないものについては、社会福祉協議会が受託することをやめていこうという動きがあることが報告された。その議論の流れを承認したという状況である。そのことに伴う職員配置の問題については、次の段階で議論することになるようだ。

委員：社協だよりはカラー印刷か。

事務局：1色刷りだ。

他に質問、意見無く理事会報告を終了した。

2. 審 議 事 項

(1). 2005年度第7回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

委員長：では、第7回運営委員会の会議録を確認する。訂正箇所はあるか。

修正意見無く、第7回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>を確定稿とすることを承認した。

(2). 第2回災害専門委員会と運営委員会との合同会議会議録について

委員長：続いて災害時のシステムづくり専門委員会との第2回合同会議の会議録を確認したい。この会議録は、災害専門委員会では承認されているのか。

事務局：10月28日に開催された専門委員会で承認していただいている。

修正意見無く、第2回災害専門委員会と運営委員会との合同会議会議録<未定稿>を確定稿とすることを承認した。

(3). 災害時の対応のシステムづくり専門委員会からの答申について

委員長：前回運営委員会に示された答申(案)と今回の最終の答申とで、変更があった箇所の説明をしてほしい。

事務局：答申の内容の考え方についての変更はないが、項目の統合、項目名の変更、項目の順序の入れ替えが主な変更点である。

委員長：この答申を公開するか。

事務局：災害専門委員会でも公開については議論されていないので、専門委員会の考えも聞いてみたいが、12月1日から始まる歳末たすけあい運動の事業所募金では、来年度の災害に関する取り組みを簡単にまとめたチラシを作成して事業所に配布しながらPRしていきたいと考えている。

委員長：公開していくということによいか。

委員：広報紙に掲載してもよいのではないか。

委員：2006年度の災害への取り組みの事業を掲載するのか。

事務局：事業所募金の際に配布するチラシには、前回の運営委員会で承認していただいた2006年度事業の重点取り組み事項のうち、災害に関する事業を掲載していきたい。

委員長：時間的に間に合うのであれば、チラシを作成して、市民まつりで配布してもよいのではないか。また、ホームページでの公開はできるのではないか。

事務局：答申のダイジェスト版のようなものをチラシ的に作成して、いろいろな事業を行う度に配布してPRしていく。

答申に関して公開をすることについて、他に意見、異議無く、公開することを確認した。

(4). 2006年度西東京ボランティア・市民活動センターの事業について

資料7に基づき、10月開催の運営委員会以降、事務局が検討した事項を中心に、事務局より説明する。

委員長：「ぼらんていあ倶楽部」の配布部数と配布方法はどうか。

事務局：11月1日に発行したものは、市民まつりなどでの配布を考えているので、2000部印刷したが、通常は1700部印刷している。配布方法は、登録ボランティアへの郵送の他、公民館などの公共施設へ配布している。

委員：「ぼらんていあ倶楽部」を歯医者や病院へ置いているか。

事務局：今は置いていない。

委員：歯医者や病院の待合室的なところへ置くと見てもらえるのではないか。

委員：150人の学生に授業で「ぼらんていあ倶楽部」を発行されるごとに配布することは可能で

はないかと思う。授業のなかで活用することができるのではないかと思う。

事務局：掲載した記事についての説明をしたいという場合はどうか。

委員：可能だと思う。

委員：授業として学生に対して、運営委員会委員にも話をさせていただきたいと思っているが、外部から講師を招くと予算面の課題が出てくる。

委員長：スーパーに募金箱を置いているが、そういうお店に「ぼらんていあ倶楽部」を置いてもらうことはできないか。

事務局：今まで依頼したことがないので協力していただけるかどうかは現時点では何とも言えない。

委員長：イオンなど地域活動に積極的なので可能なのではないか。

委員：青年会議所のメンバーやOBに配布したり、商工会会員などに「ぼらんていあ倶楽部」を配布することは可能ではないかと思う。

委員長：媒体に何を載せていくかを精査したほうがよい。メールニュースなどでこまめに配布していくという方法もあるのではないか。載せることと情報を集めるということの両方をしていかないといけなのではないか。ボランティア・市民活動センターに情報を寄せようという気にさせないといけない。

委員：「ぼらんていあ倶楽部」に掲載した記事ごとに、ボランティア・市民活動センター職員のコメントがあると面白いと思う。

委員長：インパクトのある紙面づくりをしたほうがよい。

委員長：コール田無や夜間解放している児童館などに出て行ってボランティア・市民活動センターの事業を行うのもよいのではないか。また、児童館まつりをやっているところにブースを出すなども考えてよいと思う。

委員長：備品の貸し出しでは、紙折り機のニーズは多いのではないかと思う。

委員：チラシを配布する時に、風船をつけると喜んで受け取ってくれる。

委員長：はなバスにチラシを置いたりポスターを貼ったりするのは可能性が大きいのではないか。

委員：献血時に「ぼらんていあ倶楽部」を配布するというのもよいのではないか。

事務局：この建物で住民健診を市が行っているので、健診を待っている人に「ぼらんていあ倶楽部」を配布することをお願いした。

委員長：新聞社へ定期的に情報提供して、イベントなどの情報を掲載してもらうようにするとよいのではないか。またプロジェクターを有料で貸し出すのはよいと思う。

委員：本を執筆して売るということはどうか。そうすれば学生に教材として買ってもらうことができ、ボランティア・市民活動センターの収益となる。

委員長：J C A F Eという団体では誰もが簡単につくれるホームページの作成ツールを開発しているので、それを使っているいろいろな団体のホームページの作成を代行して収益事業としたり、イベントの時に焼き芋を売るとよい。

事務局：団体情報を冊子にして売るとはどうかと考えている。

委員長：よいのではないか。ただ、その冊子をしっかりとつくりたいと売れない。

委員：「ぼらんていあ倶楽部」へ商工会会員の広告を掲載して、その広告料を収益にできると思う。

委員長：ボランティア・市民活動センターが行うプログラムに指定寄付をしてもらうという方法もある。使用済みのテレフォンカードや中古ゲームソフト、古本、書き損じはがきなどを集めて収益にするというのもよいのではないか。中古着物も売ることができる。

以上、意見が出され、2006年度の事業について承認される。

(5).西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員の選出方法について

委員長：運営委員の選出にあたっては、団体を優先するのではなく、個人を配慮した選出方法になるのではないかと思う。

委員：再任の制限はあったか。

委員長：連続2期までとなっている。

異議無く、西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員選出要領（案）を承認する。

委員長：次回運営委員会で委員の皆さんから委員候補者を出してほしい。委員だけでなく、事務局からも候補者を出すよう準備してほしい。

以上をもって、第8回ボランティア・市民活動センター運営委員会の協議を終了し、散会する。